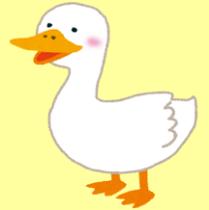




ずー ZOOっといっしょ

とり 鳥インフルエンザの対策について

全国で高病原性鳥インフルエンザが発生しているため、桐生が岡動物園では、お客様の安全と飼育している鳥たちのために、次の対策をしています。



○野鳥の保護を一時休止しています

弱っている鳥や死亡した鳥は、動物園に持ち込まないでください。
こうした鳥はむやみに触らず、見つけたら動物園にご相談ください。



○出入りに消毒ポイントがあります

動物園の北門と南門の出入り口には、消毒ポイントがあります。
ここで手指の消毒と足元の消毒マットをしっかりと踏んで、ご入園ください。
ベビーカーや小さなお子様にも、ご協力をお願いしています。
鳥たちの飼育場所では、消毒のため消石灰(白い粉)を散布しています。



○鳥の飼育場所に網をかけています。

野鳥が入らないように、鳥の飼育場所には細かい網をかけています。
鳥が見えにくい場合もありますが、ご理解をいただきたくお願いします。



○感染予防のため、一部の施設や鳥の展示をお休みします

- ・しばらくの間は、こどもどうぶつコーナーをお休みします。
- ・フラミンゴ池のオシドリ、クモザル池のアヒル展示はお休みします。
- ・水鳥池の鳥たちは他の場所へ引っ越しました。
その他にも、状況によって園内の鳥が移動する場合があります。



ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

こんげつ いろ うつく とり しょうかい
 今月は色あざやかで美しい鳥たちを紹介します

フラミンゴのなかま

フラミンゴ池には、ベニイロフラミンゴ、ヨーロッパフラミンゴ、チリーフラミンゴの3種類のフラミンゴがいます。見分け方のポイントは羽や脚の色です。

ベニイロフラミンゴ	一番あざやかで、濃い色をしています
ヨーロッパフラミンゴ	体が大きく、脚の色はピンク色です
チリーフラミンゴ	羽数が一番多く、脚の色は白く見えます



寒い時や水辺にいる時は、体内の熱を逃がさないように片足立ちをしますので、冬季はこうした姿をよく見ることができます。曲がったくちばしは、エサとなる水中のプランクトンを食べるのに適しています。

クジャク

インドクジャクのオスは首が青く、鮮やかなかざり羽が特徴的です。

メスへのアピールとして、かざり羽を大きく広げる姿が見られるのは、繁殖期にあたる春から夏になります。

繁殖期を過ぎたオスのかざり羽は全て抜け落ち、翌年の春に向けて新しいかざり羽がだんだんと伸びてきます。

1、2月はこの状態のオスが観察できる貴重な時期です。



12月号クイズのこたえ クイズ1 正解1 クイズ2 正解1